

科目名	解剖学実習		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	実習	単位	2 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 村仲 隼一郎／実務経験：作業療法士 病院勤務 9 年 村越 由季子／実務経験：作業療法士 病院勤務 5 年					
授業概要	骨・筋の触診を行う					
到達目標	・実際の身体上で骨・筋の触診ができるようになる ・教科書通り手順（プロセス）をおって実施できるようになる					
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 上肢【メジカルビュー社】 運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 下肢・体幹【メジカルビュー社】 プロメテウス解剖学アトラス 運動器系 【医学書院】					
参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学第 5 版 【医学書院】 基礎運動学 第 6 版 【医学書院】					
成績評価方法	実技試験		定期試験		計	
	25 点×4		点		点	
予習・復習のポイント	解剖学を事前に予習し、受講するとより理解が深まる。また、繰り返し実技の練習を行うことで知識の定着に繋がる。					
授業計画						講師名
第 1 回	オリエンテーション 鎖骨【肩峰端・胸骨端】 肩甲骨【肩甲棘・肩峰・内側縁】					村仲・村越
第 2 回	肩甲骨【外側縁・関節下結節・烏口突起・上角・下角】 /胸郭【胸骨柄・頸切痕・胸骨体・剣状突起】					村仲・村越
第 3 回	上腕骨【大結節・小結節・結節間溝・外側上顆・内側上顆・上腕骨小頭・肘頭窩・上腕骨滑車】/橈骨【橈骨頭・橈骨茎状突起・リスター結節】/尺骨【肘頭・尺骨頭・尺骨茎状突起】					村仲・村越
第 4 回	手根骨【豆状骨・三角骨・舟状骨・月状骨・大菱形骨・小菱形骨・有頭骨・有鉤骨】 /骨盤【腸骨稜・上前腸骨棘・下前腸骨棘・坐骨結節】					村仲・村越
第 5 回	骨盤【腸骨稜・上前腸骨棘・下前腸骨棘・坐骨結節】/大腿骨【大転子・大腿骨頭・大腿骨膝蓋面、大腿骨内側顆・大腿骨外側顆・大腿骨内側上顆・大腿骨外側上顆・内転筋結節】					村仲・村越
第 6 回	下腿【膝蓋骨・脛骨粗面、脛骨内側顆・脛骨外側顆、腓骨頭・内果・外果】					村仲・村越
第 7 回	脊柱【外後頭隆起・頸椎棘突起・腰椎棘突起】 復習					村仲・村越
第 8 回	三角筋・大胸筋・棘上筋・棘下筋					村仲・村越
第 9 回	小円筋・大円筋・肩甲下筋・広背筋					村仲・村越
第 10 回	烏口腕筋・僧帽筋・菱形筋・肩甲挙筋・					村仲・村越
第 11 回	小胸筋・前鋸筋・上腕二頭筋・上腕筋					村仲・村越
第 12 回	腕橈骨筋・上腕三頭筋・肘筋・円回内					村仲・村越
第 13 回	方形回内筋・回外筋・その他					村仲・村越
第 14 回	復習・上肢筋テスト 1					村仲・村越

授業計画		講師名
第 15 回	長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋	村仲・村越
第 16 回	長橈側手根伸筋・短橈側手根伸筋・尺側手根伸筋・総指伸筋・	村仲・村越
第 17 回	示指伸筋・小指伸筋長母指伸筋・短母指伸筋・長母指外転筋・	村仲・村越
第 18 回	浅指屈筋・深指屈筋長母指屈筋・短母指屈筋・短母指外転筋・	村仲・村越
第 19 回	母指内転筋・母指対立筋・小指外転筋・短小指屈筋	村仲・村越
第 20 回	小指対立筋・虫様筋・背側骨間筋・掌側骨間筋・	村仲・村越
第 21 回	復習・上肢筋テスト 2	村仲・村越
第 22 回	腸骨筋・大腰筋・縫工筋・大腿筋膜張筋	村仲・村越
第 23 回	中殿筋大殿筋・梨状筋・長内転筋・恥骨筋	村仲・村越
第 24 回	大内転筋・大腿直筋・内側広筋・外側広筋・中間広筋	村仲・村越
第 25 回	半腱様筋・半膜様筋・大腿二頭筋・薄筋	村仲・村越
第 26 回	膝窩筋・前脛骨筋・腓腹筋・ヒラメ筋	村仲・村越
第 27 回	後脛骨筋・長腓骨筋・短腓骨筋復習	村仲・村越
第 28 回	復習	村仲・村越
第 29 回	復習	村仲・村越
第 30 回	下肢の筋 触診確認	村仲・村越
備考	<p>解剖学実習における物理的環境及び仕様物品</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教室は、演習が可能な広さを担保できる木工室で行う。 2) 木工室ではグループワーク用の机の周りに、向き合いながら 5 人～6 人のグループで着席する。 3) 骨の詳細な部位の確認のため、骨模型を 5 グループ 1 ケースごと使用する。 4) 筋の詳細な部位の確認のため、筋肉パズルを 5 グループ 1 ケースごと使用する。 5) 関節とそれぞれの骨の繋がりの確認のため、骨標本を 5 グループ 1 体づつ使用する。 <p>解剖学実習における実技演習の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2 人～3 人の組を作り、被検者役・検査者役に分かれ、それぞれの身体を触れ、時に密接な距離をとりながら、実際の人体に配置されている骨の確認を行う。 2) 演習の中で主に治療台を使用し、被験者は触診に必要な様々な臥位・座位の肢位を繰り返す。 3) 授業の前後には、衛生面の配慮からスタンダードプリコーションを実施する。 4) 授業参加にはマスクの着用を必須とする <p>解剖学実習における感染予防対策</p> <p>触診を用いた学習は、概念的な理解に加えて、実際の人体を使った演習と連合せなければ、効果的な学習が困難であると予測されるため、以下の感染予防対策を用いて行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 被験者・検査者役は原則、同一グループで実施する。(ローテーションを行わない) 2) 授業参加にはマスクの着用を必須とする 3) 1 つの骨・筋に対し、手洗いと手指消毒を徹底する。 4) 厚労省が提示する咳エチケットを順守する。 5) 飛沫が飛ぶような大きな声で実施しない。 	

科目名	運動学 I		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	2 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	15 コマ	時間数	30 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保洋平／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年					
授業概要	人体の運動を力学的観点から学習する					
到達目標	解剖学的知識を基に、関節の構造、筋の付着から運動の仕組みを理解する 人体の動きを運動学的に説明できる					
教科書	基礎運動学 第6版 補訂 / プロメテウス 解剖学アトラス第3版					
参考書						
成績評価方法	期末試験				計	
	100 点	点	点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。					
授業計画						講師名
第 1 回	オリエンテーション 運動の空間的側面（面と軸）を理解する 基本的肢位／解剖学的肢位／前額面／矢状面／水平面／垂直軸／矢状水平軸／前額水平軸					神保洋
第 2 回	てこの原理／道具におけるてこ／身体におけるてこ					神保洋
第 3 回	上肢帯の関節構造					神保洋
第 4 回	上肢帯の筋作用					神保洋
第 5 回	肩関節の関節構／浅い関節構造をどのように補強しているか					神保洋
第 6 回	肩関節の筋作用／／回旋筋腱板／肩甲上腕リズム					神保洋
第 7 回	肘関節と前腕の動きを理解する 肘の 3 つの屈筋の違いを理解する					神保洋
第 8 回	まとめ					神保洋
第 9 回	手関節の関節構造・手の動きに橈骨手根関節と手根中央関節はどう連携しているか					神保洋
第 10 回	指の動きを理解する／浅指屈筋と深指屈筋の違い／CM 関節の特徴／長母指外転筋と短母指外転筋の違い					神保洋
第 11 回	指の動きを理解する／指背腱膜の構造を理解する 虫様筋・骨間筋の役割の違いを理解する					神保洋
第 12 回	筋の作用・反作用					神保洋
第 13 回	筋の収縮様式（等尺性収縮、等張性収縮、求心性収縮、遠心性収縮）					神保洋
第 14 回	応用課題					神保洋
第 15 回	全体まとめ					神保洋
備考						

科目名	運動学Ⅱ		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		2 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	4 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保 洋平／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年					
授業概要	人体の運動を力学的観点から学習する					
到達目標	下肢・体幹の運動の仕組みを理解する 重心と反力、モーメントの概念を活用し、動作の分析が出来る 運動に関与する神経基盤／運動に伴う循環器系の変化／エネルギー代謝を理解する 姿勢や歩行を動作分析的視点で見ることが出来る					
教科書	基礎運動学第 6 版【医歯薬出版】					
参考書	プロメテウス解剖学アトラス運動器系【医学書院】					
成績評価方法	中間テスト	期末テスト			計	
	50 点	50 点	点		100 点	
予習・復習のポイント	【予習】各授業のテーマに該当する教科書を読む 【復習】授業のポイント、キーワードを整理する					
授業計画						講師名
第 1 回	股関節の関節構造と靭帯の作用を理解する					神保
第 2 回	股関節の関節構造を理解する					神保
第 3 回	股関節の筋の作用を理解し空間的に出来る					神保
第 4 回	膝関節と靭帯の作用を理解する					神保
第 5 回	膝関節構造を理解する					神保
第 6 回	膝筋の作用を空間的に理解する					神保
第 7 回	足関節の関節構造と靭帯の作用を理解する					神保
	足の筋の作用を理解し空間的に出来る					
第 8 回	足のアーチ構造を理解し、アーチを支えている仕組みを理解する					神保
第 9 回	運動学習の理論					神保
第 10 回						神保
第 11 回	エネルギー代謝（カロリー／基礎代謝／エネルギー代謝率／代謝当量）					神保
第 12 回						神保
第 13 回	筋のエネルギー代謝					神保
第 14 回	復習課題					神保
第 15 回	前半まとめ					神保

授業計画		講師名
第 16 回	表情筋・顎関節の運動学	神保
第 17 回	頸部～体幹の運動学	神保
第 18 回	頸部～体幹の運動学	神保
第 19 回	呼吸の運動学	神保
第 20 回	呼吸の運動変化（呼吸生理学）	神保
第 21 回	運動学的分析の手順を理解する	神保
第 22 回	第 21 回の内容を踏まえ、重心・姿勢と筋活動を分析的に理解する	神保
第 23 回	第 21 回の内容を踏まえ、重心・姿勢と筋活動を分析的に理解する	神保
第 24 回	歩行周期を理解する	神保
第 25 回	歩行周期の角度変化について理解する (股関節・膝関節・足関節・骨盤)	神保
第 26 回	歩行周期における床反力・重心移動の変化を理解する	神保
第 27 回	歩行周期における筋活動を理解する	神保
第 28 回	小児と高齢者の歩行について理解を深める	神保
第 29 回	復習課題	神保
第 30 回	後半まとめ	神保
備考		

科目名	精神医学		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		2 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	2 単位
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 高橋 知之／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年					
授業概要	作業療法士に必要な精神医学を学ぶ					
到達目標	作業療法を実施するために必要な ①精神医学の総論について説明できる ②精神症候学について説明できる ③各精神疾患について説明できる					
教科書	精神医学第 3 版【医学書院】					
参考書	精神疾患の理解と精神科作業療法【中央法規】 現代臨床精神医学【金原出版】					
成績評価方法	定期試験				計	
	100 点	点	点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスに従い、教科書の該当箇所を熟読し講義に臨むこと。 講義内容に従い、過去の国家試験問題の該当箇所を学習すること。					
授業計画						講師名
第 1 回	精神医学とは 正常と異常 Tx. P2-6					高橋
第 2 回	精神障害者の処遇の歴史と法規 Tx. P6-10 252-270					高橋
第 3 回	精神障害の診断と評価 成因と分類 病識と病感 Tx. P11-15					高橋
第 4 回	意識とその障害 知能とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 5 回	性格とその障害 記憶とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 6 回	感情とその障害 欲動、意志とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 7 回	自我意識とその障害 知覚とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 8 回	思考とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 9 回	思考とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 10 回	精神状態像 神経心理学的症状 Tx. P38-45					高橋
第 11 回	精神障害分野における検査 Tx. P53-67					高橋
第 12 回	前期 課題の整理					高橋
第 13 回	前期 まとめ					高橋
第 14 回						高橋
第 15 回						高橋

授業計画		講師名
第 16 回	統合失調症	高橋
第 17 回	統合失調症	高橋
第 18 回	気分障害 うつ病	高橋
第 19 回	気分障害 躁病	高橋
第 20 回	神経症性障害 不安神経症 パニック障害 広場恐怖 強迫神経症 解離・身体表現性障害	高橋
第 21 回	人格障害	高橋
第 22 回	摂食障害	高橋
第 23 回	精神作用物質 依存症	高橋
第 24 回	てんかん 精神遅滞 心理的発達の障害	高橋
第 25 回	症状性精神障害	高橋
第 26 回	小児期から老年期の精神心理的特性と疾患の特徴	高橋
第 27 回	精神科における薬物療法	高橋
第 28 回	睡眠障害	高橋
第 29 回	認知症（脳器質性精神障害）	高橋
第 30 回	後期まとめ	高橋
備考	再試験の場合は、後期末再試験期間に前後期全範囲にて実施する。	

科目名	リハビリテーション概論		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	1 単位
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念		コマ数	15 コマ	時間数	30 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保匡良／実務経験：作業療法士 老健勤務 8 年 高橋知之／実務経験：作業療法士 病院勤務 7 年 山根剛／実務経験：作業療法士 病院勤務 7 年 ◎ 神保洋平／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年 村越由紀子／実務経験：作業療法士 病院勤務 5 年 村中隼一郎／実務経験：作業療法士 病院勤務 9 年					
授業概要	リハビリテーションの概要を理解する					
到達目標	【知識・技術】 リハビリテーションに最低限必要な知識や概念を理解することができる (ICF/ICIDH, 生活/医学モデル, 医療保健システム, 他職種 of 理解, リハ領域 of 理解) 【思考力・判断力・表現力】 ・医学モデルと生活モデル of リハビリを区別して説明することができる ・リハビリとは何かを理解しその中における 作業療法 of 役割を説明することができる 【学びに向かう力】 ・社会システムにおけるリハビリの価値を理解し学習意欲を高めることができる					
教科書	入門リハビリテーション概論第 7 版, 増補 ① 標準作業療法学 作業療法概論 第 3 版 ②					
参考書	随時紹介					
成績評価方法	定期試験				計	
	100 点		点		100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。 講義該当箇所の国家試験問題を学習する。					
授業計画						講師名
第 1 回	リハビリテーションの定義や目的を説明できる					山根
第 2 回	リハビリテーションの職種について説明できる① (理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・精神保健福祉士・リハ医師・ケアマネの役割を説明できる) チームアプローチについて説明できる					神保洋
第 3 回	リハビリテーションの職種について説明できる②					神保洋
第 4 回	リハビリテーションの職種について説明できる③					神保洋
第 5 回	医療保険システム① 地域包括ケアシステムの理解					村中
第 6 回	医療保険システム② 地域包括ケアシステムの理解					村中
第 7 回	リハビリテーションの分野・領域について説明できる① (身障・発達・精神・高齢期・地域リハ・急性期・回復期・慢性期など)					高橋
第 8 回	リハビリテーションの分野・領域について説明できる② (身障・発達・精神・高齢期・地域リハ・急性期・回復期・慢性期など)					高橋
第 9 回	障害の分類 ICF/ICIDH を説明できる①					村越
第 10 回	障害の分類 ICF/ICIDH を説明できる②					村越
第 11 回	障害の分類 ICF/ICIDH を説明できる③					村越
第 12 回	医学モデルと生活モデルを理解する①					神保匡
第 13 回	医学モデルと生活モデルを理解する②					神保匡
第 14 回	医学モデルと生活モデルを理解する③					神保匡
第 15 回	まとめ					神保匡
備考						

科目名	専門職連携論		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		4 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	1 単位
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念		コマ数	15 コマ	時間数
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 村越 由季子／実務経験:作業療法士 病院勤務 5 年					
授業概要	作業療法実践の臨床現場における IPC (Interprofessional Collaboration) 及び IPE (Interprofessional Education) に関して学び、多職種連携の基礎を学ぶ					
到達目標	①IPC および IPE のための基礎知識を理解する ②チームワーク及びチームマネジメントの成り立ちと基礎を理解する ③他職種連携に必要な一般知識とコミュニケーション能力を理解する ④日本と世界の IR 教育に関して理解をする					
教科書	IP 保健-医療-福祉専門職の教育・実践【協同医書出版社】					
参考書	リハビリテーション連携論 ～ユニバーサル社会実現への理論と実践～【三輪書店】					
成績評価方法	定期試験				計	
	100 点		点	点	100 点	
予習・復習のポイント						
授業計画						講師名
第 1 回	臨床における IPC と IPE とは何か P2-7					村越
第 2 回	IPE の経緯とその目標 P9-20					村越
第 3 回	ヘルスケアチームにおける様々な連携 P29-36					村越
第 4 回	ICF でみる専門性の違い P47-52					村越
第 5 回	他の専門職と専門性を理解する P55-77					村越
第 6 回	チームビルディングの基礎と理論 P94-111					村越
第 7 回	臨床のチームワークの基礎 P113-121					村越
第 8 回	マネジメントの概念と IPC (IPW) P123-125					村越
第 9 回	日本人とコミュニケーションと社会行動的特性 P132-142					村越
第 10 回	社会組織におけるチームと連携 P150-160					村越
第 11 回	チーム連携の意味・必要性を知る P162-166					村越
第 12 回	ショートケースを利用したグループワーク 1 P177-181					村越
第 13 回	ショートケースを利用したグループワーク 2 P182-186					村越
第 14 回	世界に広がる IPE 学生ネットワークについて P193-210					村越
第 15 回	まとめ					村越
備考						

科目名	作業療法概論 I	対象学科		作業療法学科	
		開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門分野	講義形態	講義	単位	2 単位
	基礎作業療法学	コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保洋平／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年 高橋知之／実務経験：作業療法士 病院勤務 7 年 山根剛／実務経験：作業療法士 病院勤務 7 年 神保匡良／実務経験：作業療法士 老健勤務 8 年 村越由紀子／実務経験：作業療法士 病院勤務 5 年 村仲隼一郎／実務経験：作業療法士 病院勤務 9 年				
授業概要	作業療法の概略、歴史を知り、作業療法士としての資質と適性を身につける。				
到達目標	・ 作業療法歴史を踏まえ作業療法士に求められている役割について説明できる。 ・ 作業療法の実践の過程について説明できる。 ・ 作業療法士の資質と適性を説明できる。				
教科書	標準作業療法学「作業療法概論」【医学書院】				
参考書					
成績評価方法	定期試験	レポート		計	
	80 点	20 点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。				
授業計画					講師名
第 1 回	作業療法士の働く場について説明できる。				山根
第 2 回	作業療法の手順について説明できる。				山根
第 3 回	作業療法の目標について説明できる。				神保洋
第 4 回	作業療法士の役割について説明できる。				神保洋
第 5 回	作業療法士の責任について説明できる。				高橋
第 6 回	作業療法士の仕事の魅力、やりがいについて説明できる。				高橋
第 7 回	作業療法の実際				村越
第 8 回	作業療法の実際				村越
第 9 回	作業療法の実際				
第 10 回	作業療法の実際				
第 11 回	作業療法の実際				
第 12 回	作業療法の実際 ※1～12 回は専任教員の実践体験を聞き、上記内容について学ぶ。				
第 13 回	作業機能障害の視点で自分の生活を考える				村越
第 14 回	作業機能障害の視点で自分の生活を考える				村越

第 15 回	作業療法士に求められているもの：生活機能向上マネジメント	村越
第 16 回	作業療法士に求められているもの：生活機能向上マネジメント	村越
第 17 回	作業療法の歴史①：パラダイムシフトについて	神保匡
第 18 回	作業療法の歴史②：各パラダイムについて (前パラダイム・作業パラダイム・機械論的パラダイム・現代のパラダイム)	神保匡
第 19 回	作業療法の歴史③：作業療法のアイデンティティ形成について	神保匡
第 20 回	作業療法の歴史④：プレゼンテーション	神保匡
第 21 回	作業療法の定義	神保洋
第 22 回	作業療法の定義	神保洋
第 23 回	まとめ	神保洋
第 24 回	作業療法士に求められる適正・倫理 P94	山根
第 25 回	作業療法と ICF	神保洋
第 26 回	作業療法と ICF	神保洋
第 27 回	作業療法と ICF	神保洋
第 28 回	領域別作業療法：身体障害	林
第 29 回	領域別作業療法：身体障害	林
第 30 回	後期まとめ	神保洋
備考		